



日本共産党 北区議会議員

No.54 2024.1 月号

## せいの恵子区政レポート

日本共産党北区議員団

〒114-8508

王子本町 1-15-22

<http://keiko-seino.com>  [mail@keiko-seino.com](mailto:mail@keiko-seino.com)

ご相談は  
お気軽に

070-3531-0812

### 2024年 能登半島地震

## 一刻を争い命救う支援に総力を

元日に石川県能登地方を震源とする地震が発生し、広範囲にわたり強い揺れと津波が起きました。今なお続く余震や天候悪化もあり、深刻な被害が続いています。

亡くなられた方々に心から哀悼の意を表すとともに、被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

日本共産党は発災の日ただちに「2024年能登半島地震災害対策本部」をたちあげ、被災地の党組織、国会・地方議員が要望の聞き取り、調査・救援活動に全力をあげとりにくんでいます。

また、4日には政府に対し、水、食料、電気、トイレなど救援物資の支援強化、住まい確保や住宅再建法の拡充、産業復興のための直接支援、石川県と新潟県の新発廃炉など、緊急要請を行いました。

私、せいの恵子も地域の方々とともに5日（金）は王子駅親水公園口で「能登半島地震救援募金」にとりくみました。また、せいの恵子事務所では事務所前に募金箱を設置し、募金への呼びかけを行っています。お預かりした救援募金は、日本共産党の政治活動のための資金と区別し、全額を被災者救援、被災自治体への義援金に充てます。

災害関連死を含めて地震で死者が100人以上になるのは2016年の熊本地震以来です。救援、復興は政治の優先課題です。政府は当面の支出として23年度予算の予備費から47.4億円の支出を表明しましたが、大規模な被災者支援のためには、自治体や住民の要望を聞いて十分な予算案を組み、国会で審議しなければなりません。今こそ、軍事費より防災予算！の声を私もあげていきます。



募金は、下記で受け付けています

#### ●日本赤十字社 令和6年能登半島地震災害義援金

【郵便振替】

口座番号 00150-7-325411

加入者名 日赤令和6年能登半島地震災害義援金

※窓口振り込みは手数料免除、ATM等は手数料が

かかります。/ 受領証を希望の方は、通信欄に「受領証希望」と明記してください。

【北区役所】

義援金は、北区役所地域振興課（北とぴあ10階）及び各地域振興室（平日のみ）の窓口でも受付しています。

募金箱は、平日は北区役所第一庁舎1階受付、滝野川会館1階受付、赤羽会館2階赤羽地域振興室窓口に設置しています。また、北とぴあ1階受付の募金箱は、休館日以外は毎日受付しています。

#### ●日本共産党 能登半島地震災害募金

【郵便振替】口座番号00170-9-140321

加入者氏名 日本共産党災害募金係

※通信欄に「能登半島地震募金」とご記入ください。

手数料はご負担願います。

# 企業・団体 献金は **全面禁止** に

繰り返される「政治とカネ」問題の根底に横たわる  
歴史的な“腐敗構造”にメスを

## 細川政権による 「政治改革」(1994年)の問題点 「改革」の名で小選挙区制・ 政党助成金を導入

自民党との談合によって「政治改革」を小選挙区制と政党助成金制度の導入にすりかえ。

## 企業・団体献金に抜け穴

- ①政治家個人に対するものは禁止したものの、政党や政党支部への企業・団体献金は容認。
- ②企業・団体によるパーティー券購入という事実上の企業・団体献金の穴が残された。

自民党によるパーティー券裏金づくり疑惑は、国民の怒りを呼び起こしてきてきた「政治とカネ」をめぐる問題の根底には歴史的な「腐敗構造」があります。

1990年代初頭に、リクルート事件、ゼネコン汚職などの金権腐敗事件が相次ぎ、その中心にあった自民党は政権から退場を迫られました。ところが、93年に誕生した非自民の細川連立政権は自民党と談合し、「政治改革」と称して小選挙区制や政党助成金制度の導入を強行、政治腐敗の根源である企業・団体献金は、政治家個人に対するものを禁止としましたが、政党や政党支部への献金は容認し、パーティー券購入による事実上の献金という穴を残しました。自民党はこの穴を使って、巨額の裏金づくりをシステム化させていったのです。

パーティー券購入も含め企業・団体献金を全面的に禁止することこそ、真の解決策です。



## 日本共産党北区議員団ニュース 新春号ができました

日本共産党北区議員団は、11・12月に開かれた区議会第4回定例会での論戦と成果を紹介する「日本共産党北区議員団ニュース新春号」を発行しました。

定例会開会前に提出した新年度予算要望書に含まれる区民要望も、一部が先行して実現へ。ぜひお読み下さい。



2024年の日本は、年初から災害、事故が発生。一方世界を見ても終わらない戦争が人々の命を奪うなど心が痛む出来事ばかり。しかし、そのような中でも、人々が助け合う姿に希望を感じます。誰もが命を大切にされる社会に。今年も頑張ります。

せいの恵子

